



令和5年度 身延中 学校だより

発行者:校長 渡邊 史

NO.10 令和6年3月25日

第8回卒業証書授与式

未来へ～この学び舎とすべての人へ感謝を込めて～

3月11日(月)、現校舎では最後となる第8回卒業証書授与式が挙行されました。47名の3年生は別れの悲しみや不安を感じつつも、それ以上の大きな満足感と充実感に満ち満ちた表情で巣立っていきました。そして、それを送る1・2年生の気持ちのこもった合唱にも感動をしました。卒業式に向けた練習、準備から当日、片付けまで、身延中学校全生徒・保護者・職員他、関係のすべての方の思いの詰まった、心温まる卒業式となりました。

コロナ禍の3年前に入学した3年生は、様々な制限を強いられ、思い描いていた中学校生活とは少し違ったものになってしまったかもしれません。でも3年生は地道に勉学に励み、行事や部活動など様々なことに挑戦し、成果をあげ、学校生活を豊かにするための生徒会活動も前向きに続けてきました。

今年度の生徒会活動のスローガンは「昇華」でした。これまでの活動を大切に、その質を高め、一日一日を充実していきたいという思いを込め、生徒総会で決定されました。以降、「○○しましょうか!」と様々な場面でこの言葉をかけ合っていたのが、最初はとても微笑ましく感じました。そして、次第に活動の場面場面での気持ちの高まりにも役立つようになり、一人一人の思いや願いのベクトルを一致させる大切な役目を果たしていたように思います。そういった活動の過程そのものが掛け替えのないものであり、たくさんの学びが詰まっているものです。計画通りに行かず立ち止まったり、涙を流したこともあったかも知れませんが、その中で身延中学校の伝統を再確認し、さらにレベルアップさせ、後輩や次の世代に繋げていこうという目標に近づいてきたのだと感じます。

また、学年としてのまとまりや力を示し、自分たち自身を昇華させてきたのも3年生でした。輝桜祭学年演劇では3年間ミュージカルづくりに取り組み、集大成の今年度は「アラジン」を上演し、観ている者を魅了しました。合唱発表会では、学級合唱「手紙」「むぎや」、学年合唱「信じる」を男女のバランスよく、きれいなハーモニーに仕上げ、歌詞やメロディに込められた思いと同時に、学級や学年としてのメッセージを表現しました。さらには、早朝から放課後・休日にわたって取り組んだ部活動での活躍も、記憶の中に鮮明に残っています。

開校から8年、現校舎での最終年となった大きな節目の年に、3年生が残した足跡は本校の進むべき方向性をはっきりと示してくれました。来年度から、身延中学校は木の香り漂う素晴らしい校舎でスタートを切ります。3年生が受け継ぎ、磨きをかけてくれた身延中学校の基本形は、後輩達がいしっかりと引き継ぎ、それを土台に新たなステージで山梨県一、全国一の中学校に発展させてくれることと確信しています。

3年生の保護者の皆様、3年間にわたり本校の教育活動に惜しみないご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございました。卒業生の行く道が、広く、そして明るく照らされた道でありますようお願いしています。



着実に成長した一年

本日3月25日で令和5年度が終わります。年月の経過、季節の移ろいも早く感じられ、もうすぐ本格的な春を迎えます。春が終われば夏、そして秋、冬と同じように繰り返されていきます。パナソニックを創った松下幸之助さんはある本の中で、「春、夏、秋、冬と同じことの繰り返しのように思えるが、樹々は一まわり大きくなっている。それぞれに、それだけ成長している。決して同じではない、繰り返しではない。」という趣旨のことを言っています。私たちの生活は、毎日・毎年同じことの繰り返しのように思えますが、昨日より今日、昨年よりも今年の方が必ず成長しているということだと思えます。

昨年の春からの一年間を振り返ってみると、生徒たちは確実に成長しました。大きく、たくましくなりました。修了式では、そんな一年の成長を実感してもらいたいことを伝えました。「自分は何も変わっていないのではないかな…。」と不安になる人もいるかもしれませんが、そのスピードに違いはあれ、誰もが着実に成長しているはずですよ。

次に視点を過去から未来に移し、これから一年での成長を展望してもらいたいと思います。一年後、1年生は今の2年生の立場に、2年生は先日卒業した3年生の立場になっています。来年のこの時期に一年を振り返ったとき、どんなところが成長したと思いたいかを考え、さらにはもう少し先の将来に向けて目標を定めてもらいたいと思います。4月の新2年生・3年生のスタートの日、何か決意を持って元気な顔で会えることを楽しみにしています。

部活動の在り方について ～朝練習をなくし、放課後の活動を充実します～

全国的にも部活動改革・部活動地域移行が議論され、山梨県でも学校部活動及び地域クラブ活動等に関するガイドラインが出されました。身延町においても「休日部活動の地域移行」に向けて、少しずつ議論されております。

そんな中、身延中学校では令和5年度の部活動の体制を継続しつつ、当初は令和7年度より「朝練習の縮小(大会前の2週間に限定)」を検討してきました。これは、部活動の地域移行への流れでもあり、県内の中学校でも同様の動きがみられるからです。ところが、校舎移転に伴う新たなスクールバス運行計画に、生徒・保護者・教職員に大きな負担が生じてしまうことが分かりました。教育委員会や山梨交通様には、これまで通りの朝練実施に向けて、様々な配慮をいただき感謝しているところではあります。より有効的な教育活動・部活動を実施するために、令和6年度より「朝練習をなくし、日課を20分繰り上げ、部活動を含めた放課後の活動を充実させる」ことにしました。(詳細は3/15の1・2学年PTA部会にて説明した通りです。)

今後、新入生・その保護者の皆様にも周知していく予定です。様々なご意見もあるかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



さあ、新校舎へ

地域に住む方にとっても思い出深い、私たちのたくさんの思い出の詰まったこの校舎での生活も、いよいよ終わりを迎えました。統合前から多くの卒業生がここで中学校時代を過ごし、今、身延町唯一の中学校としてここにある校舎です。

4月からはいよいよ新校舎での生活が始まります。3月22日(金)には盛大に竣工式が行われ、生徒・保護者・地域の皆様への内覧会も行われました。これまで、日に日にできあがる新校舎を見ながら、この日を楽しみにしていました。全国に誇れる木の香り漂う校舎を建設していただき感謝でいっぱいです。教室で、体育館で躍動する子どもたちの姿が目につかびます。生徒のみなさんには、初めて足を踏み入れた瞬間の感動を忘れずに、新たな身延中学校を創っていただきたいと思います。旧校舎での思い出を胸に新校舎で頑張ること、青春を謳歌することこそ、建設に関わっていただいたみなさんへの恩返しだと思います。

なお、引っ越し作業を3月26・27日に行います。新校舎の住所・連絡先は以下の通りです。校舎移転に伴い、様々なご不便をおかけすると思いますが、不明な点は学校までお問い合わせください。

■新校舎

住所：〒409-2522
南巨摩郡身延町下山9667
TEL：0556-64-8061
FAX：0556-64-8071
※電話開通は3/29～(予定)

表彰の記録

- 西関東吹奏楽連盟表彰 依田 愛里
- 山梨県吹奏楽連盟表彰 渡邊 董 若林 実優 中 弥博
- 身延町西嶋和紙の里蔡倫書道展
山梨放送賞 3年 竹内こゆき
身延町商工会長賞 2年 青柳 璃子
和紙の里賞 1年 山田 衣緒 3年 鈴木 隆太